

【問い合わせ先】

島根県病害虫防除所 [担当：福間・澤村]

TEL：0853-22-6905

FAX：0853-24-3342

令和5年度 病害虫発生予察情報 技術情報第2号

令和5年5月1日
島根県病害虫防除所

タマネギ腐敗病・軟腐病の発生状況について

タマネギの腐敗病・軟腐病が平年に比べて発生が多く認められました。また、発生助長要因である他病害の病斑、強風による葉の傷みも散見されています。今後、被害の拡大が懸念されます。

現地では発生状況を把握し、薬剤散布など防除対策の徹底をお願いします。

1. 発生状況と今後の予想

1) 4月下旬の巡回調査では、軟腐病・腐敗病の発生ほ場率が53.3%（平年42.5%）、発病株率が5.2%（平年2.6%）と過去10年で3番目に多い（図1）。多発生ほ場では、今後甚大な被害を受ける可能性がある。

2) 中国地方1か月予報（4月29日～5月28日、広島地方气象台4月27日発表）によると向こう1か月の気温は平年に比べて高くなる確率が50%、降水量が平年に比べて多くなる確率が40%と、本病の発生にやや助長的である。

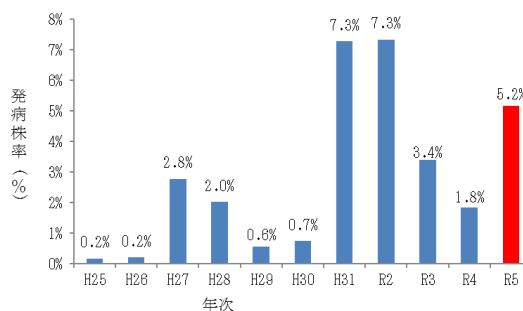


図1 タマネギ腐敗病・軟腐病の発病株率(%)
(4月下旬調査)

2. 防除対策及び防除上の注意事項

1) 伝染源となる発病株を早期に抜き取り、ほ場外へ持ち出し適切に処分する。

2) 両病害とも病原細菌は、主に傷口、他病害の病斑から感染するため（図2）、強風や雹害後に薬剤散布する、また他病害の防除を行う。

3) タマネギの生育は平年に比べて早く、薬剤選定の際は収穫前日数に留意する。

4) 除草などの管理作業を行う際は、タマネギに傷を付けないよう注意する。

5) 貯蔵中の発病を防ぐため、収穫は晴天日に行い収穫物に傷を付けないよう管理する。



図2 他病害病斑から感染した腐敗病・軟腐病